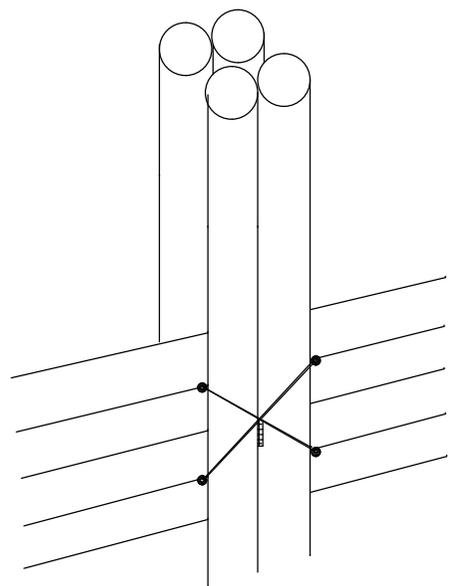


## 臙竹（おぼろ竹）施工注意点

臙竹のくぼみ部分が真下になるように組子を入れ込んで下さい。

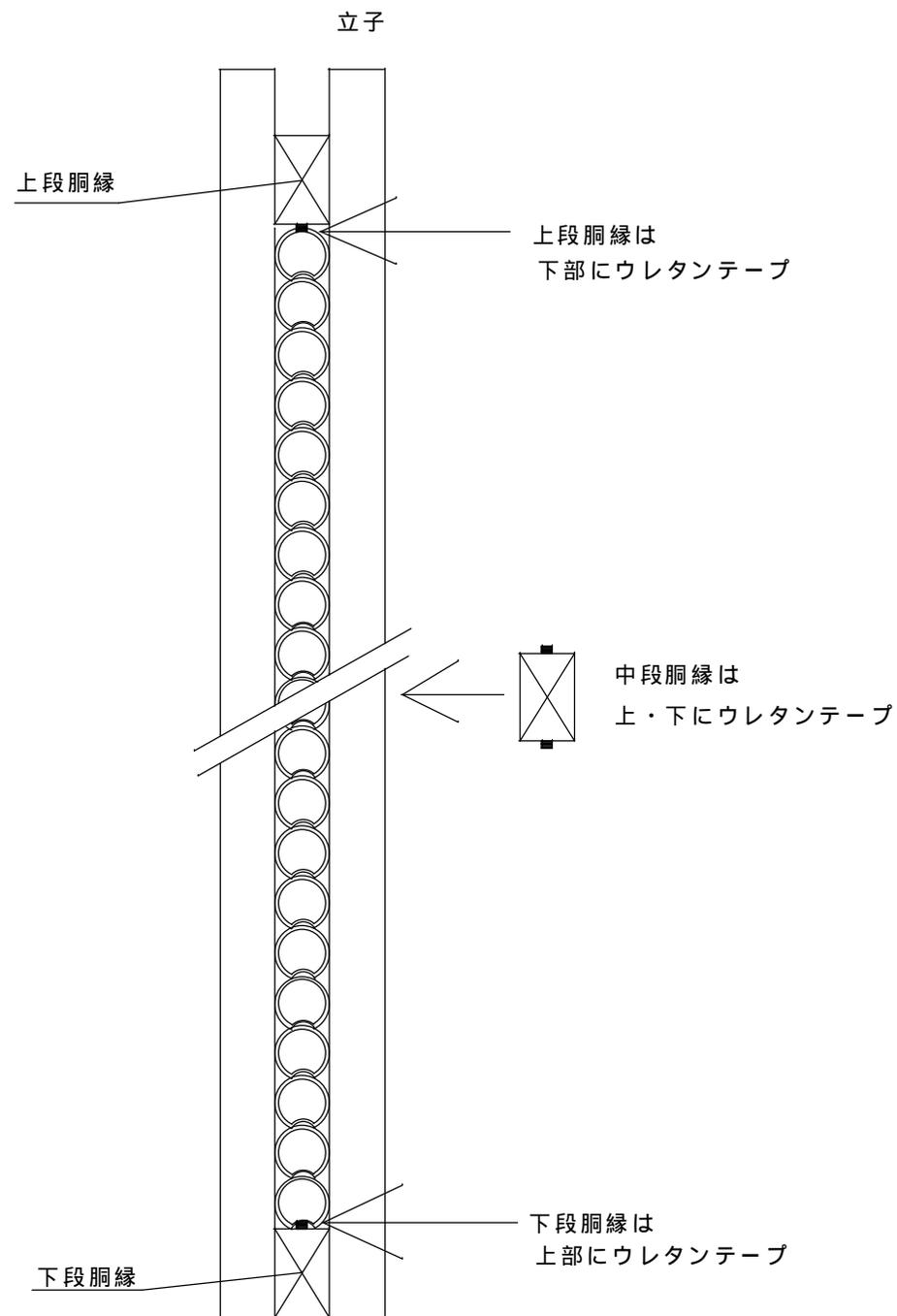
銅線で組子（臙竹）と立子を結束する際は、

3.2mm程度のキリで穴を開けて下さい。

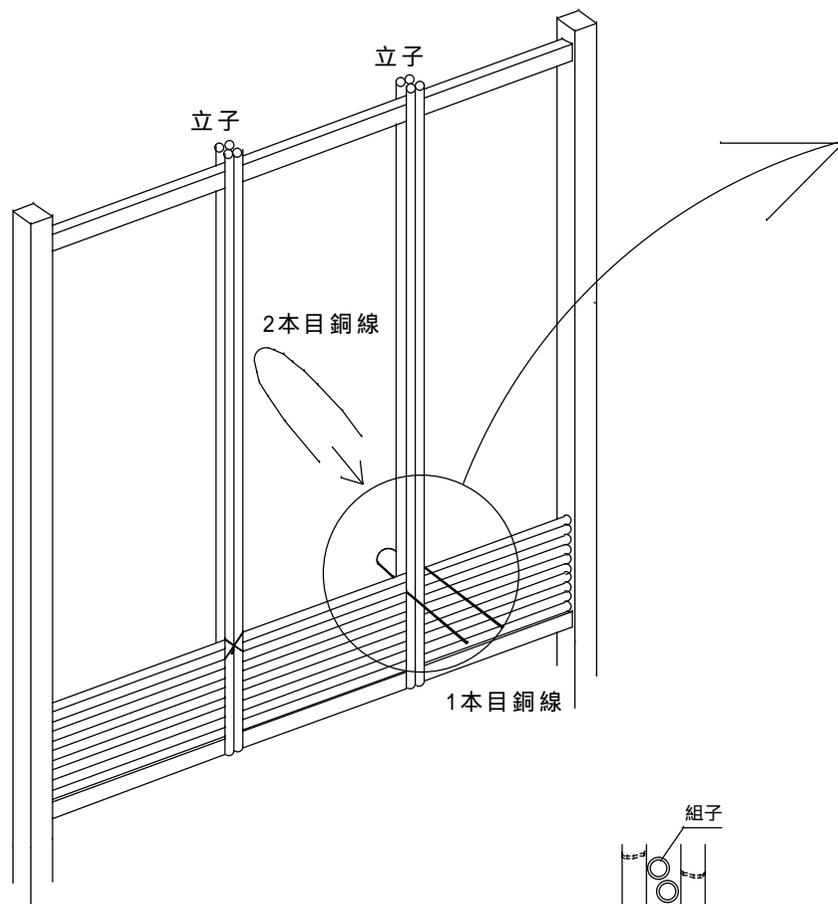


立子

1ヶ所の結束に2本の銅線を使用します。



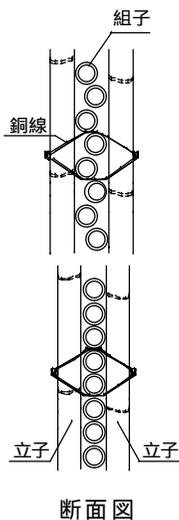
断面図



1ヶ所の結束に、2本の銅線を使用します。

銅線のしぼり方がゆるいと、施工後に組子が下がる原因になりますので、きつくしぼります。

銅線の結束する位置は、後で棕櫚縄を結ぶ位置にもなりますので、バランスを考えてしぼって下さい。



1



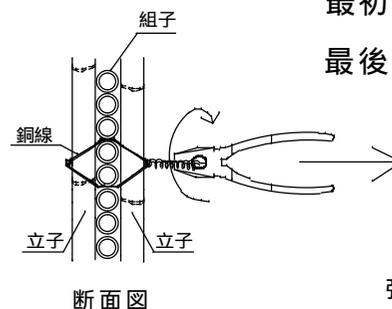
1本目の銅線は、左下 と右上 から出します。

2本目の銅線は、左上 と右下 から出します。

表裏の立子で組子を挟みこむように  
銅線2本を斜め掛けにします。

組子が臍竹（おぼろ竹）の場合は、3.2mm程のキリで  
組子に穴を開けてから、銅線を通して下さい。

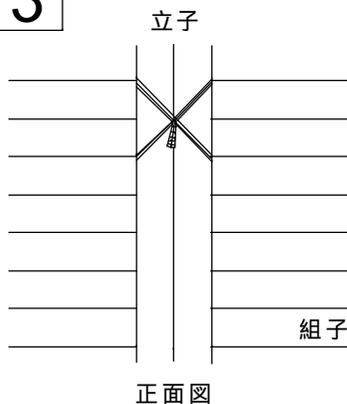
2



最初は手で軽く結束し、  
最後にペンチ等で引きながらきつく結束します。

強すぎますと、銅線が切れてしまいますので注意下さい。

3



銅線の長い部分は、ペンチ等でカットします。

銅線の切り口は、危険のないように折り曲げて下さい。